

令和3年度 学校評価報告書

学校教育目標			重点目標		
時代がどのように変わろうとも、心豊かにたくましく生きていく人を育てる。 (1) ふるさとに学び、ふるさとを愛し、地域に貢献する人づくり。 (2) 学業と部活動に力一杯取り組み、高き理想に挑戦する人づくり。 (3) 夢をかたり、夢をかくみ、夢をかなえる人づくり。			(1) 主体的に学習に取り組む姿勢を育み、進路目標に応じた学習の充実により、学力向上をめざす。 (2) 互いを尊重する思いやりの精神とともに、自他の命や人権を大切にすることを育む。 (3) キャリア教育を通して、学ぶ意義や将来の目標を見出し、キャリアプランニング能力を育むとともに、自立した社会人に必要な能力を培う。 (4) 地域と連携した活動により、ふるさと意識を育むとともに、人々との絆を深め、社会の一員としての自覚を高める。 (5) グローバル化の進展に対応して、語学力やコミュニケーション能力を高めるとともに、主体性や創造性、チャレンジ精神をもって行動する力を育む。 (6) 災害から得た教訓を生かし、助け合いの精神やボランティア精神を育むとともに、山崎断層帯に位置する学校として防災教育を推進し、災害への対応力を高める。 (7) 「ノー部活デー」、「ノー会議デー」、「定時退勤日」を完全実施し、勤務時間の適正化に努める。		
教育方針					
(1) 自らの可能性を信じ、困難や逆境に立ち向かう人を育てる。 (2) 郷土を愛し、地域の人々と支え合い協力して、兵庫の発展に貢献する人を育てる。 (3) 伝統と文化を尊重するとともに、多様な価値観を理解し、国際社会に貢献する人を育てる。 (4) 思いやりと寛容の心をもち、命と人権を大切にすることを育てる。					
令和3年度学校評価項目	評価の平均	参考：令和2年度 の平均	令和3年度の取組と課題	学校評議員・保護者等の意見（抜粋）	
学校運営	学校開かれた 学校づくり	3.09	3.21	<ul style="list-style-type: none"> ・本校Webページのブログ欄の更新頻度をあげ、情報発信に努めている。 ・「山高タイムズ」（学校便り）を定期的、継続的に発行し、宍粟市内各中学校や市役所、加生自治会館、神姫バス山崎停留所等に配付し情報発信に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「山高タイムズ」を自治会館の掲示板に貼らせてもらっている。高齢化する地域に若者の息吹を感じさせるのに役立っている。 ・引き続き、学校の情報発信に努めていただきたい。その手段（アナログ、デジタル問わず）の工夫もさらに進めていただきたい。また、それらの企画制作過程には、可能な限り生徒も関与させたらどうかと思います。
	連校携内	2.99	2.95	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校行事の様子を動画により情報発信し、地域へのPR増強を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「山高タイムズ」を届けていただき、山崎高校での取組を垣間見ることができました。山崎高校に限った事ではないですが、コロナ禍の影響もあり保護者と学校との接点が少なく感じます。学校生活の様子が見える機会がもう少しあればいいのですが。
	生徒指導	2.97	2.82	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が安全で安心して学校生活が送れるように校則の見直しを積極的に行った。しかし、スピード感を持って校則の改定を実施したことで、教職員間で改定ポイントが共通理解しきれなかったことが課題となった。 ・教職員一人一人が生徒の心に耳を傾け、深く関わりを持ち組織的に対応することに努めたことで、大きな生徒指導事案は発生しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・おしなべて山高生徒は他校と比べ、おとなしくて良い感じがする。生徒指導の担当先生他の努力に敬意を表します。 ・近年、山高生が下校時に「さよなら」「こんにちは」などの挨拶をしてくれることが何度でもあります。地域の皆様の山高へのイメージアップにつながります。
	進路指導	2.87	2.89	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に新入生歓迎球技大会を急遽実施したことが、生徒間の人間関係づくりに有効的であった。次年度にもつなげていきたい。また、コロナ禍で延期して11月に実施した文化祭も、工夫し実施できたことは、生徒の自己有用感を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題については、今昔を問わず学校教育現場はもとより一般社会においても永遠のテーマだと思います。ある意味「賽の河原」のような問題については、指導される先生方には大変なご苦労があるかと思いますが、引き続き地道なご指導をよろしくお願ひいたします。
	進路指導	2.99	2.98	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめのアンケートを年間5回全校生に実施しいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。また、次年度に続き、夏季休業中に保護者向けのいじめに関するアンケートを実施、様々な観点でいじめの認知に努めた。 ・生徒会が中心となり、山崎町内の保育園、幼稚園、さつき学級へ花を植えたプランターと花壇名「やまこうかだん」と記した看板を寄贈し、地域貢献に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまこうかだん」ありがとうございました。コロナ禍で交流できなかったことが残念ですが、できることから継続していけたらいいと思います。 ・登校中のマナーが悪い。並列歩行や車が来て避けようとしません。
	進路指導	3.00	2.86	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、授業時間の不足や行事の縮小など通常の進路指導が困難な状況で、できる限りの取り組みはできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり学力の向上に努力願いたい。現実的に学歴が人生に影響される社会であるが、色々な個性、特性を生かした進路指導を願いたい。
	進路指導	2.99	2.98	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・教科の教師との連携が円滑ではなかった感があるが、今後の課題として改善努力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での2年間でしたが、指導されるご苦労をお察しします。課題は、まずは学力の向上かと思えます。地元小中学校との連携や地教委・行政とのコミュニケーションもさらに必要と存じます。また県教委とは、人口減少とともに少子化の進む現状の中で、今後と当地域の高等学校教育の在り方について抜本的に検討する時期ではないかと考えますが・・・
	進路指導	2.99	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力の低下が目立つ中、学校あがりの取り組みを考へる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、十分な学習環境が整わないことや、学習意欲の向上のむずかしさを感じています。さらに学力低下につながるのではないかと危惧しています。こんな時期だからこそ、一人一人を大切にしたい声掛けが必要だと感じています。 ・進路情報をもっと保護者に伝えてほしい。
	教員の資質向上	2.75	2.64	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業、授業公開、授業評価の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・努力に敬意を表します。 ・先生方の自由な雰囲気での授業研究はとても大切だと思います。「学習指導案」などを作成しない自主的なグループ（既にあるかもしれませんが）からでもスタートできたらいいと思います。
	教員の資質向上	2.93	2.78	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に研修会に参加するなど、課題意識をもって自己の研鑽に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手が多いということは、伸びしろが大きいということ。向上心をもった人材の育成を期待します。まず、生徒に認められることからでしょうか。
教育課程	た個別に 習得 意欲の 喚起	3.01	2.97	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度より「森と食料」を新設した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「森と食料」の向上を願う。 ・地域のふれあいサロンの協力で感謝している。 ・「森と食料」新設はとてもよかったと思います。生徒の現状（希望）に立脚したカリキュラム編成、授業の工夫が求められていると思います。
	意欲の喚起	2.87	2.84	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度より始まる新学習指導要領に基づいた教育に向け、従来の教育課程を大幅に見直し、多様化する生徒たちの進路希望に柔軟に対応可能な教育課程の編成を目指した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題活動をはじめとする課題教育に多くの分析が割かれているのに対して、教育課程に関する分析が少ないのは、それだけ課題教育に多くのウエイトが置かれているのではと心配です。課題教育も当然ですが、本来の教育課程にこそ軸足を置くべきとおもうのですが。
	えらぶ 力 を 育 む	2.90	2.81	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行や、令和4年度から始まるBYOD（Bring Your Own Device）を背景としたオンライン授業への期待の高まりを受け、タブレット端末を有効に活用した授業の充実に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用は、低年齢からでも強く言われています。今の時代だからこそその教育内容の工夫が必要で、魅力ある授業のあるところに、意欲ある生徒が育つてくると思います。 ・授業でスマホやPCを使用するときは、Wi-Fiに接続できると助かります。
課題教育	活課 動外	3.05	3.01	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に部活動紹介と部活動体験期間を設け、部活動の導入率の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の体験は人生において大切なものであり、生涯において重要である。（1人1人の個性を高めるためにも） ・経験してみたい、また、特技を生かせるような魅力のある部活動があるといいなと思います。
	防 災 教 育	3.15	3.10	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、ほうさい甲子園で「奨励賞」を受賞。 ・12月に、地元自治会を招待し「防災体験活動」を実施した。 ・防災教育に関しては、今後も学校全体として取り組んでいく。 ・4月上旬に、宍粟市消防署職員の指導の下、教員対象の救急搬送シミュレーション訓練を実施した。急変時の初期対応や搬送の実践を学び、学校安全について考えるよい機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体験活動に毎年参加させていただいており、防災意識の高揚に役立っている。 ・命を守る取組は、どこでも必要なことです。今後も防災教育に継続して取り組んでいってください。
	教 情 報	3.12	2.99	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル講演会を行い、スマートフォンの取り扱いマナーの徹底に努めた。 ・来年度の1年生から各自タブレット端末を学校に持参（BYOD）することになるため、より一層のその利用方法、トラブルの防止や情報モラルについて生徒に指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護と情報公開の必要の関係の研究、研修が大切と考える。 ・情報モラルに関しては、いくら言っても言い過ぎになることはありません。どんどん専門家の意見を聞く機会をもち、危機を未然に防いでほしいと思います。
	教 育 権	3.05	2.97	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新たにがん教育講演会を行い、健康教育の更なる充実を図った。生徒の感想からも、「いまある健康が当たり前ではなく、感謝したい」などが聞かれ、がんについての知識だけでなく、いのちの大切さを学ぶよい機会になった。 ・「生き方考える」をテーマに講演会やLHRを行った。生徒は、講演を通じて多様な価値観を学び、自身の生き方考える機会となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者、女性等の共生、助け合いが求められている地域においても、人権意識を高める必要があると考えている。 ・SHR、LHRで人権・命を大切にすることを一層のご努力を望みます。 ・健康教育が将来強く生きる力につながっていくと思います。自分もまわりの人も含めて、命を大切にしたい気持ちにつながってほしいです。
	活 体 動 験	2.97	2.90	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市復興支援ボランティア活動（りんごプロジェクト）を実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大によりボランティア活動が制限される中、各学年毎で清掃活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山高生徒による加生地内の清掃活動に感謝している。環境整備に地域も活動している。 ・ボランティア活動は、身近な小さなことからでもできます。意識を育てていくことが大切だと思います。

※「評価の平均」の項目は、生徒・保護者・職員のアンケート（1＝そう思わない 2＝どちらかといえばそう思わない 3＝どちらかといえばそう思う 4＝そう思う）